

第 1 回
第一地区ふれあいまつり
 (にここ会食会・体協スポーツ大会・健康づくり推進大会・
 公民館活動報告会・福祉ひろば発表会)

平成28年3月5日(土) Mウイング6Fホール及び中央体育館にて第1回の
 ふれあいまつりが開催されました。大勢の方の参加があり、盛大に行われました。



平成28年3月1日現在
 世帯数： 876戸 (-6)
 人口：1600人 (-12)
 男： 780人 (-9)
 女： 820人 (-3)

◎吟詠教室◎



◎親子スポーツ大会◎



福祉ひろば
サークル
ステージ発表

◎きさらぎ会◎



◎葉月の会◎



◎流風会◎



地区公民館活動
展示報告



分銅町公民館
書道教室作品展示



福祉ひろば
作品展示

◎生きがい講座木目込み人形◎

健康づくり推進員会ステージ発表



◎紫陽花の会◎



◎つくし会◎

◎楽しい脳トレ体操◎



◎粘土サークル◎



◎楽がき絵画教室◎



平成27年度町内公民館活動ハイライト



伊勢町3丁目町会
町内バス旅行
靖国神社参拝
(27.6.21)



伊勢町1丁目町会
植樹祭
伊勢町の歩道
(年2回)



国府町町会
町会レクリエーション
美ヶ原高原
(27.10.8)



分銅町町会
書道教室「流風会」
分銅町公民館
(毎週水曜日)



新伊勢町町会
秋のふれあい旅行
飛騨市古川
(27.10.21)



博労町町会
三九郎
(博労町3世代の
コラボ)
薄川(28.1.10)



中条中町会
4町会合同出張
ふれあい健康教室
中条中公民館
(27.11.25)

電車通り

友人の奥様の訃報が届いた。私より5歳も若い彼女が入院から二ヶ月足らずで亡くなってしまったことを思うと、自身の老いにも、自然と心が向いてしまう。

少し前までは、自分が死ぬということがとても恐ろしかった。それが今は「時が来れば私にも死が訪れる」ということは当然のこととして受け入れられるようになっていく。

ほんの一センチもないような段差につまづき、とんでもなく飛ばされ、おでこから地面につこんですり傷を作ったりというようなことが結構よくある。股関節の骨がずれてしまっていて、ちょっと左足をひきずって歩くようになってしまっているが、これは毎日のストレッチ運動で現状維持している。

私が「これが老いの症状の大きな原因かも」と思っていることがある。それは、あらゆることに関して、自分が相当に無関心になってしまっていることである。

もの忘れがひどくなっているのも、人の言うことに対して全く無関心で聞いているからではないだろうか。ほしい物も別にない、買物にも行きたいと思わない、というような無関心状態の中で、あと十年生きられたら充分かもしれない。文を書いたり人と交わったりする中でこういう自覚が少しでも刺激になるように努力して生きなければ、と思う。

願わくは、夜普通に床に入り、朝になつたら、おだやかにあの世に行っていたという風に終りたいものだ。

願わくは、夜普通に床に入り、朝になつたら、おだやかにあの世に行っていたという風に終りたいものだ。